10/13（月・祝）
茨城町職工組合
小・中学校での奉仕活動

茨城町職工組合（三塚敏彦組合長）は、小・中学校施設の修繕などを行う学校奉仕作業を実施しました。

当日は、各小・中学校から事前に要望のあった防球柵や本棚、ベンチ、道具入れ、プランター台等の製作、雨樋やリアカー、図工室机の修繕など、様々な内容の奉仕作業が行われました。

この活動は、組合員が持っている様々な技術を活かし、町の児童・生徒のために役立てたいと、同組合が昭和44年から毎年恒例行事として実施しています。各学校からは「要望した内容以上の作業をしていただき、子どもたちはもちろん教職員が完成品を見て驚き喜んでいる姿が見られました。組合員の方々には大変感謝しています。」との声が上がっています。

10/17（金）
若い力に寄り添う
自衛官募集相談員委嘱状等交付式

（後列左から）小林町長、栗秋茨城地方協力本部長
（前列左から）関相談員、澤相談員、川崎相談員

自衛官募集相談員委嘱状等交付式が行われ、澤秀雄さん、関俊治さん、川崎正則さんへ、小林町長から自衛隊茨城地方協力本部長と連名の委嘱状が交付されました。

自衛官募集相談員は、自衛官志願者に対する情報提供や自衛隊茨城地方協力本部が実施する募集のための様々な広報活動の支援等を行っていただく方々で、委嘱期間は令和７年10月１日から令和９年３月31日までとなっています。

10/20（月）
行政相談委員総務大臣表彰を受賞
海老澤委員が表敬訪問

行政相談委員　海老澤栄子さん（写真中央）が令和７年度行政相談委員総務大臣表彰を受賞され、報告のため小林町長を表敬訪問しました。

海老澤さんは、平成23年に行政相談委員に就任して以来、町民と行政を結ぶ架け橋として、長きにわたり、町民の困りごとなどの相談を受け、問題解決と行政運営の改善にご尽力いただいています。こうした活動が行政相談委員の模範と認められ、この度の受賞に至りました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。

文芸

《短歌》

○カマキリからハリガネムシが生まれたふしぎな世界昆虫の世界　佐藤よし子（谷田部）

●桂の葉心臓の形樹をなでるわれをみつめる数多のハート　小堤美智子（小　堤）

●突然の師との別れに荒ぶ胸秋風撫でて暫し和らぐ　大野　友子（城之内）

秋の虫今夜限りと思うてかバリトンさらにボリュームアップ　諸川　恵子（駒　場）

外灯に集まる昆虫を採りに来て垣間見たのは夜勤者の群れ　内田　理（長　岡）

コスモスの花びら揺らすタテハチョウ枯葉模様で目立たずヒラリ　髙見　英子（大　戸）

夫の呼ぶ声に振り向きほっとする夢より覚めしあとの空しさ　鳥羽田早苗（鳥羽田）

野の道や赤くて丸い吾亦紅心をよぎる母の横顔　浦井　正子（宮ヶ崎）

ほっとする皇室ニュース保護犬にペロリと鼻先舐められし皇后　河野　久子（網　掛）

ミニトマト花は咲けども実がならず私は迷うどうしようかと　平本　裕男（小　幡）

（評）佐藤さん―小さな発見から大きな感動が生まれた。広がりとはずみのある歌で、対句がとても効果的に使われている。小堤さん―木の葉の形に注目して、想像がふくらんだ。樹木との交歓がたのしく、やさしい感受性が光っている。大野さん―尊敬する先生との死別を悲しむ挽歌。せつない気持ちを折からの秋風が慰めてくれた。心にしみる歌である。

4首（句）目からは初句の第一音の五十音順に掲載しています。

《俳句》

○十五夜や窓もこころも鍵を開け　髙見　英子（大　戸）

●秋茄子やもうひと花と紫紺冴ゆ　村井　孝子（長　岡）

●サンマ焼く匂い届ける回覧板　野口　秋夫（上石崎）

いざ投げる輪投げ大会トンボ舞う　鳥羽田早苗（鳥羽田）

小春日に新刊読みて一日暮れ　佐藤よし子（谷田部）

彼岸花お地蔵様にウィンクす　諸川　恵子（駒　場）

ふるさとの汽水湖涸沼鯊の秋　片岡　忠彦（長　岡）

見事な鰯雲わたし鯖が好き　小堤美智子（小　堤）

木犀や香に包まれんわが街も　白田　美鶴（網　掛）

休む場所定めて止まる赤とんぼ　浦井　正子（宮ヶ崎）

（評）髙見さん―固く閉ざしていた心が柔らかくなるような感覚が伝わり、十五夜の清らかな光に包まれる情景が浮かぶ。村井さん―「もうひと花」と、凛とした鮮やかな色を表現する「冴ゆ」により、生命の力強さや瑞々しさを感じる。野口さん―サンマを焼く匂いと回覧板の組み合わせが秀逸。地域のつながりと共にある「秋」が温かく描かれている。

【作品の送付先】
ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、**20日まで**にお送りください。
郵　便：〒311-3192
茨城町小堤1080
茨城町秘書広聴課　宛
FAX：029（292）6748
【問合せ先】秘書広聴課
☎029（240）7126（直通）

茨城町国際交流協会

「交流バスツアー」で国際交流

茨城町国際交流協会では、お互いの文化の理解を深める国際交流事業として、９月20日（土）に「交流バスツアー」を開催しました。

当日の参加者は、35名で、そのうち外国人会員はアメリカやフィリピン、ブラジル、ラオス出身の16名でした。

手ひねり体験では、カップや皿づくりに挑戦し、初心者も経験者も和気あいあいと楽しんでいました。神社では、絵馬に願いごとを書く外国人会員もいました。車中では、日本やラオスの歌が披露され、たいへん盛り上がりました。

様々な場面で会員の交流が見られ、日本人も外国人もお互いの文化の理解を深めることができた交流バスツアーでした。

笠間稲荷神社にて

「手ひねり体験」桧佐陶工房にて

【茨城町国際交流協会　会員募集】

国際交流に興味・関心がある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか？活動の見学もできますので、皆様のご連絡をお待ちしております。

茨城町国際交流協会HP

【申込み・問合せ先】茨城町国際交流協会　☎０２９－２１９－００４４（直通）
地域政策課　☎０２９－２１５－８００３（直通）